

令和7年飯田市議会第2回定例会 一般質問通告表

令和7年6月12日、13日

No.	氏名	項目・要旨
1	古川 仁 (日本共産党) 【 40 分 】	<p>1 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>(1) JR東海は長野県駅（仮称）工事において6月から土曾川橋梁基礎工事の中詰め材として「要対策土」を活用した工事の開始を表明したが、市の対応は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新聞報道で6月上旬から開始とあったが現状は ② 市として独自の水質調査の考えは ③ 市内の「要対策土」仮置き場の状況は ④ 市民の命と暮らし・環境を守るため、市として有識者や専門家を含めたチェック機能設置の考えは <p>(2) 自主防災会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 持続的に地域を守るための課題は ② 今後、持続的に地域を守るためには
2	小平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 飯田市の観光について</p> <p>(1) 飯田市への観光客について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ㈱南信州観光公社との連携は ② 観光客を誘致するための調査分析はできているか <ul style="list-style-type: none"> ア 観光客数と観光消費額の把握は イ 動向、満足度調査は <p>(2) 中心市街地の観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 歴史的偉人や文化的資産を活かせないか ② 裏界線を活用できないか ③ 誰もが分かる案内表示の設置は <p>2 災害に備えた体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり委員会と自主防災組織をどのように考えるか (2) 災害時に必要となる各種有資格者の活用をできているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	(3) 災害時相互援助協定とはどのようなものか ① 災害時相互応援協定との違いは ② 飯田市外の地区協定先の数は ③ 発災時以外の連携はどのようにしているか
3	森 本 紘 司 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 文化会館について (1) 新文化会館整備の進捗状況は ① 基本計画の作成状況は ア 現在の検討状況と課題は イ 一体型・分散型、あらゆる可能性があるがいつまでに方向性を決めるのか (2) 空調設備の状況は ① 不具合があるとすれば、修理が可能か 2 学校の教育環境整備は (1) 小中学校の給食の状況は ① 米の高騰や物価高騰による献立への影響は ② 今年度一食60円の補助があるが、更なる支援の考えは ③ 日本一住みたいまちは、こどもが安心して地元の食材を楽しめる日本一質の高い給食を提供すべきと考えるが、これについて市長の考えは (2) 部活動のクラブチームへの地域移行の進捗状況は ① 公認地域クラブに対しての活動支援補助金額の決定基準は ② 現在の申込状況は ③ 指導者の確保に苦勞しているクラブが多い現状に対し、市としてのサポート体制は (3) 学校の体育館への空調設備導入について市の考えは (4) 学校の防犯対策は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森 本 紘 司 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> ① 不審者の侵入に対し現在行っている対策は ② 防犯カメラの設置状況や、今後の設置についての考えは
4	長 谷 部 春 生 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> 1 資源のリサイクル推進について <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境文化都市・飯田としてリサイクル推進の現状は <ul style="list-style-type: none"> ① 資源となる古紙、金属等の回収・売却の状況は ② ペットボトル水平リサイクル事業の開始の目的とその見通しは ③ 民間商業施設等での回収についての見解は ④ より一層効果を上げるための取組は 2 リニア中央新幹線を見据えた新時代のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 多極分散型社会実現に向けて <ul style="list-style-type: none"> ① 国、県の機能の移転について、飯田市として現状認識と今後の具体的な取組は
5	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> 1 がん予防の推進と支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 子宮頸がんについて <ul style="list-style-type: none"> ① 子宮頸がんワクチンの接種状況、子宮頸がん検診の受診状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 子宮頸がんワクチンを積極的勧奨していた時期と積極的勧奨していなかった時期の罹患状況は イ 飯田市のキャッチアップ接種の推進取組についての評価は ウ 子宮頸がんワクチン接種と検診に対する対象者と保護者の認識について、現場の声は ② 飯田市のがん教育について <ul style="list-style-type: none"> ア がん教育とはどういったものか イ がん教育の実施状況は ウ 子宮頸がんに対する飯田市のがん教育の必要性の認識は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	③ 子宮頸がん撲滅に対する飯田市の認識と今後の対策について (2) アピアランスケアの助成事業について ① 飯田市のアピアランスケアの助成事業の概要は ア 申請の実態は イ 窓口に来られた方の声、化学療法を受けておられる方の声は ② 市民に寄り添った助成事業のための飯田市独自の代替え案について ア 助成の回数を複数回に増やすことは可能か イ 回数や種類を本人の意思で選択することは可能か ウ 申請方法を窓口のみでなく郵送やオンラインの選択を増やすことは可能か ③ がん以外の脱毛症等疾患にも拡充してはどうか
6	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	1 共生社会の構築に向けて (1) 孤独・孤立問題へ声を上げやすい・掛けやすい社会とは ① 当市における孤独・孤立問題の現状をどう見るか ② 孤独・孤立対策推進法とは、またその意義は ③ 相談できる場所の周知と“早めの相談は良い行動”という積極的な呼び掛けをどう考えるか ア 当市の具体的な取組は ④ 孤独・孤立問題への正しい知識を持ち、困難を抱える人をサポートする人材育成をどう進めるか ⑤ 複合要因がある中で、地域における人のつながりづくりをどう進めたら良いか ⑥ 孤独・孤立対策推進法にある“地域の関係者における相互の連携・協働推進”を、どう図るか ⑦ いいだ未来デザイン2028後期計画の4つの視点を踏まえ、戦略計画の基本目標6「誰もが生涯を通じて、その人らしく暮らすまちをつくる」の目指すものは何か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	⑧ 声を上げやすく、掛けやすい社会の実現に必要な視点について、市長の見解は (2) 認知症の人に寄り添った地域社会とは ① 当市における認知症及びMC I (軽度認知障害) へ該当する方の実態把握は ② 認知症に関する知識及び当事者理解を深めるには ③ 認知症の人に寄り添うケア技術「ユマニチュード」とは ④ 「ユマニチュード」の普及に積極的に取り組む考えは
7	片 町 元 彦 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 災害時の対応等について (1) 飲料水及び食料等の備蓄状況は ① 防災備蓄倉庫の備蓄状況、給水車による水の供給状況は ② 輸送手段として「ドローン」の活用も考えられるが、市としてその実用性や導入への考えは (2) 井戸水の活用による飲料水の確保について ① 各地区の取組状況は ② 市の支援策は 2 安心安全な水の提供について (1) 水質検査の実施状況は ① 通常の水質検査の実施状況は ② 水道水のPFOS及びPFOA検査（フッ素化合物残留検査）の実施状況は 3 夏場における避難所の環境整備について (1) 避難所の暑さ対策は ① 避難所における夏場の熱中症予防対策など、暑さ対策はどのように講じていくか ② 長野県で特に暑い遠山郷では、学校体育館は避難施設ともなっている。体育施設としての暑さ対策は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
8	福 澤 克 憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 「環境文化都市」の実現に向けて</p> <p>(1) 21' いいだ環境プランの6つのゴールにおけるターゲットの区分を具体的行動（行政）、取組事例（市民・地域・事業者）とした意図は</p> <p>(2) 環境地区懇談会を実施しての反応は</p> <p>(3) ゼロカーボンシティ推進のための情報発信は</p> <p>(4) 環境文化都市の実現に向けての市民意識の醸成は</p> <p>2 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 地域の防災訓練の状況と課題は</p> <p>(2) 災害による甚大な被害を想定した市役所の体制強化について</p> <p>① 総合相談窓口の体制、対応手法は</p> <p>② 被害認定調査から、り災証明書の発行の流れは</p> <p>③ 大規模災害時の「被災者支援システム」の検討状況は</p> <p>④ 現時点での仮設住宅の建設場所、災害廃棄物仮置き場の想定は</p> <p>⑤ 受援（外部からの支援の受入体制）の対応は</p> <p>⑥ 実践的な訓練から見えてきた課題は</p> <p>(3) 防災・減災、災害時対応を考えた地域コミュニティの考え方は</p>
9	岡 本 恒 和 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 空き家等対策計画について</p> <p>(1) 総務省統計局ホームページ掲載の令和5年の調査によれば、空き家（賃貸・売却用及び二次的住宅を除く。）の戸数4,770戸、総数比10.4%で増加傾向にある。この現状をどう捉えているか</p> <p>(2) 予防の観点から空き家の所有者への広報を強化する必要性があると考えらるがどうか</p> <p>(3) 「特定空き家等」と、このまま放置すれば特定空き家等に該当するおそれのある「管理不全空き家等」の傾向とその取組は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 本 恒 和 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>(4) 空き家バンクについて</p> <p>① 物件登録と利用者登録、成約数はどのように推移しているか</p> <p>② どのような評価と捉えるか</p> <p>(5) 空き家を減らすため、民間・行政ともに協力して行うことが大事だと考えるが、民間事業者との連携は</p> <p>2 名水百選 猿庫の泉について</p> <p>(1) 「名水百選 猿庫の泉」には県内外から多くの方が訪れているが、観光資源としてどう捉えているか</p> <p>(2) 猿庫の泉保存会会員の高齢化が進んでいる。地元のまちづくり委員会では愛護会を設けてサポートをしている。この現状を市はどう考えるか</p> <p>(3) 猿庫の泉保存会による野点の状況は</p> <p>① 野点を含め猿庫の泉への年間来客実績は</p> <p>② 観光資源としてどう位置付けているか</p> <p>③ さらにPRしてはどうか</p>
10	正 木 利 幸 (新政いいだ) 【 60 分 】	<p>1 人口減少対策について</p> <p>(1) 飯田市の人口の推移について</p> <p>① いつごろから人口減少に対し問題意識を持ち始めどのような取組を講じたか</p> <p>② その取組の目標には何を掲げたか</p> <p>③ その成果として、どのような取組を行ってきたか</p> <p>(2) 若者の定住について</p> <p>① 宝島社の「住みたい田舎ベストランキング」の上位に挙がる飯田市が、若者が移住するにあたり重要と感じる要素は何か</p> <p>② 若者は、仕事・家庭・その他をバランスよく生きる術が身につけているが、飯田市に移住する若者に対し仕事面でどのようなアプローチをしているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	正 木 利 幸 (新 政 い い だ) 【 60 分 】	<p>ア 起業家育成など、どのような取組を行っているか</p> <p>イ これまでの成果は</p> <p>ウ 何をもって目的達成と見なすか。その着地点をどこに置くか</p> <p>2 農業従事者の減少について</p> <p>(1) 飯田市の農業政策の重点は</p> <p>(2) 農業従事者の減少による問題は何か</p> <p>(3) 新規就農者の世代別割合の推移は</p> <p>(4) 農業に興味を持つ都会の若者について</p> <p>① 「新・農業人フェア」への参加人数の推移は</p> <p>② 飯田市のIターンによる農業従事者（総数・世代別）の推移は</p> <p>③ 若者が新規に農業を始める場合の障害は</p> <p>④ 飯田市の圃場で仕事をし、近隣町村に居住する農業従事者が増えてきている現状をどう捉えているか</p>
11	関 島 百 合 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<p>1 ふくまるくんカードを使った地域ポイント付与による地域通貨実証実験事業について</p> <p>(1) 取組の実態は</p> <p>① 消費者の反応は</p> <p>② 加盟店の現状は</p> <p>③ 実証実験開始時には大幅に増えたものの、減少する加盟店の現状をどう捉えるか</p> <p>④ 実証実験を二度延長した背景は</p> <p>(2) 地域ポイントへの理解が進んでいないと思われる。このため、市民の行動と意識の変化が必要と考えるがどうか</p> <p>(3) 地元での消費喚起と地域内経済の循環にどのようにつながっていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	2 眠育への取組について (1) こどもの頃から睡眠の大切さを伝える取組が必要と考えるがどうか (2) 他の自治体は保育と教育の現場に眠育を取り入れ、成果を上げていると聞くため、眠育を市の健康施策の一つの柱に据えることも必要と考えるがどうか
12	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党) 【 30 分 】	1 暮らしと健康を支えるまちづくりについて (1) 移動に困難さを抱える方たちの移動環境について ① 公共交通についての検討状況は ② 日常生活に必要な移動に困る方への支援策は ③ 介護・福祉タクシーなどの利用実態は ④ 障がい者の移動支援は (2) 障がい者のスポーツ環境の整備について ① スポーツに取り組める環境となっているか ② 障がい者のスポーツの実施状況やニーズをどのように把握しているか ③ 市はスポーツ団体や学校、福祉施設などと連携してスポーツへの参加を促しているか
13	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	1 高齢者が自分らしい生活を送るために (1) 飯田市における高齢者、高齢化の現状について ① 市の高齢化率と高齢者世帯の割合は ② 高齢者の世帯の状況は (2) 飯田市におけるフレイル予防の取組について ① フレイル予防とは ② フレイル予防の具体的な取組は ③ 料理をすることによるフレイル予防への効果は ④ 今年度から取り組んでいる補聴器への支援の状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	(3) 高齢者家族の思いと高齢者本人の思いについて <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者世帯や独居高齢者の家族の不安を解消するための取組は <ul style="list-style-type: none"> ア ハード面での取組は イ ソフト面での取組は ② 防火防犯のための取組は <ul style="list-style-type: none"> ア 各家庭への取組は イ 市の高齢者共同住宅における取組は ③ 家庭における対応の現状について <ul style="list-style-type: none"> ア 安全に配慮した生活を送るために導入した家電製品の課題への対応は
14	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 飯田市の森林政策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 森林所有者の情報の把握に関して <ul style="list-style-type: none"> ① 森林所有者の情報の把握を市はどのように行っているか ② 森林所有者のうち外国人と思われる者等の情報の把握について <ul style="list-style-type: none"> ア 外国人と思われる者等の情報を把握しているか イ 今後所有者のうち外国人と思われる者等を把握できるように県や国に求めていくことを市はどう考えるか (2) 野生鳥獣の被害は <ul style="list-style-type: none"> ① 当市における直近10年の農林業被害額及び推移は ② 鳥獣被害の発生原因をどう考えるか (3) 森林を守るために <ul style="list-style-type: none"> ① 当市の水源林地域の針葉樹林と広葉樹林の割合は ② 直近10年の水源地域における植林された樹種とそれぞれの本数とその割合は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	③ 近年において被害に遭った植栽木は植栽された木の何割に当たり、50年後被害に遭わない木はどれほど残っていると考えるか ④ 水源地や水源林の規制に関する市の取組は ⑤ 森林を守っていくために必要な市の取組は
15	野 崎 直 仁 (無 会 派) 【 40 分 】	1 昨今の米不足、価格高騰と食料安全保障について (1) この1年ほどの間に米を取り巻く状況は激変しているがどのように捉えているか (2) 飯田市における米不足と価格高騰の状況は ① スーパー等の在庫状況及び価格の推移は ② 農協直売所の在庫状況及び価格の推移は ③ 飯田市（JAみなみ信州）以外の農協ではどうか (3) 飯田市の米の生産量が激減している状況について ① 1年間で8.6%もの生産減となった点について ア 考えられる原因は イ 今後もこのような減少傾向が続くと考えるか ウ 市として何か対策を考えているか ② 実質的な減反政策と言われている転作奨励の状況について、A飼料用米、Bその他小麦や蕎麦等の田んぼに戻せる農作物、Cネギやズッキーニ等の畑作物の3分類のそれぞれの状況は ③ 農業人口の急激な減少の中、田んぼから何倍も手間のかかる畑への転作は耕作放棄地を加速度的に増やすことになるのでは ア 耕作放棄地の現状と今後の推移の見通しは イ 耕作放棄地解消のための政策は ④ 耕作放棄地を増やさないためには、田んぼは田んぼのまま維持することが良いと考えるがどうか ⑤ 移住者にとって魅力ある田舎の景観を維持する上でも田んぼのまま維持することが良いと考えるがどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	野 崎 直 仁 (無 会 派) 【 40 分 】	<p>(4) 昨年6月に食料・農業・農村基本法が改正され、食料安全保障の確保が加わったことについて</p> <p>① 飯田市としての対応は</p> <p>② 飯田市では市民の食べる米を賄うだけの量が生産されていないが、これをどう捉えるか</p> <p>③ 農協はライスセンターを次々に廃止しているが、これをどう考えるか</p> <p>④ 米政策に関して、飯田市と農協の連携の現状は</p> <p>(5) 市民の安定的な米の確保に関して市は何ができるかと考えるか</p>